

## 男女共同参画社会をめざした市民意識調査 調査票

男女の平等感についてうかがいます。

問1 次の各分野において、男女はどの程度平等だと思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

	1 平等である	2 やや平等である	3 あまり平等でない	4 平等でない
家庭生活	1 .....	2 .....	3 .....	4
地域活動	1 .....	2 .....	3 .....	4
社会通念やしきたり等	1 .....	2 .....	3 .....	4
学校（教育の場）	1 .....	2 .....	3 .....	4
就職・雇用	1 .....	2 .....	3 .....	4
職場（賃金・昇進）	1 .....	2 .....	3 .....	4
政治・経済の分野	1 .....	2 .....	3 .....	4
法律や制度	1 .....	2 .....	3 .....	4

子育てや介護についてうかがいます。

問2 子育てについての次のような考え方をどう思いますか。あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい

1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない
---------	-----------	--------------	-----------

(2) 男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよい

1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない
---------	-----------	--------------	-----------

問3 あなたは自分の子どもに、どの程度まで教育を受けさせたい（受けさせたかった）ですか。それぞれの項目について、あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

	1 中学校	2 高等学校	3 専門学校 ( 専修学校)	4 短大 高専	5 四年制 大学	6 大学院	7 わからない
女の子の場合	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
男の子の場合	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7

問4 あなたが高齢になって、もし寝たきりや認知症になったら、主に、誰に（どこで）身の回りの世話をしてもらいたいと思いますか。あてはまる選択肢の番号に3つまでをつけてください。

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 1. 配偶者  | 6. その他の親族                         |
| 2. 娘    | 7. ホームヘルパーやボランティア                 |
| 3. 息子   | 8. 社会福祉施設やケア住宅に入所                 |
| 4. 娘の夫  | 9. その他（具体的に：                    ） |
| 5. 息子の妻 |                                   |

男女の役割分担についてうかがいます。

問5 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、あなたは、この考え方に同感しますか、あるいは同感しませんか。あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

- |         |                 |                  |          |
|---------|-----------------|------------------|----------|
| 1. 同感する | 2. どちらかといえば同感する | 3. どちらかといえば同感しない | 4. 同感しない |
|---------|-----------------|------------------|----------|

問6 日常的な家庭の仕事の分担についてうかがいます。

「A 理想」は全員の方がお答えください。

「B 現実」は配偶者のいる方のみお答えください。子どもやお年寄り、病人に関する項目は、該当する方のみお答えください。

それぞれの項目について、あなたの考えや実際の分担に一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

	A 理想				B 現実			
	1 主に夫	2 主に妻	3 夫婦共同	4 その他	1 主に夫	2 主に妻	3 夫婦共同	4 その他
生活費の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
食事の支度	1	2	3	4	1	2	3	4
食事の後片付け	1	2	3	4	1	2	3	4
洗濯	1	2	3	4	1	2	3	4
掃除	1	2	3	4	1	2	3	4
日常の買い物	1	2	3	4	1	2	3	4
家計管理	1	2	3	4	1	2	3	4
近所とのつきあい	1	2	3	4	1	2	3	4
子どもの世話	1	2	3	4	1	2	3	4
子どものしつけ・教育	1	2	3	4	1	2	3	4
お年寄りや病人の世話・介護	1	2	3	4	1	2	3	4

仕事と家庭についてうかがいます。

問7 現状はともかく、女性、男性それぞれの仕事と家庭の関わり方は、どのような形が好ましいと思いますか。あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つ をつけてください。

**女性の関わり方**

1. もっぱら仕事を優先する
2. どちらかといえば仕事を優先する
3. 仕事と家庭に同程度かかわる
4. どちらかといえば家庭を優先する
5. もっぱら家庭を優先する

**男性の関わり方**

1. もっぱら仕事を優先する
2. どちらかといえば仕事を優先する
3. 仕事と家庭に同程度かかわる
4. どちらかといえば家庭を優先する
5. もっぱら家庭を優先する

問8 育児休業や介護休業についてうかがいます。

家庭で育児や介護が必要なとき、共に勤めのある夫婦が育児休業や介護休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つ をつけてください。

**育児休業**

1. 夫が取る方がよい
2. どちらかといえば夫が取る方がよい
3. 夫も妻も同程度に取るのがよい
4. どちらかといえば妻が取る方がよい
5. 妻が取る方がよい
6. その他（具体的に ）

**介護休業**

1. 夫が取る方がよい
2. どちらかといえば夫が取る方がよい
3. 夫も妻も同程度に取るのがよい
4. どちらかといえば妻が取る方がよい
5. 妻が取る方がよい
6. その他（具体的に ）

（付問）配偶者のいる方で、夫婦共にお勤めの方にうかがいます。

あなたの職場では、育児休業、介護休業を実際に取得することはできそうですか。または、取得できましたか。あてはまる選択肢の番号に1つ をつけてください。

**育児休業**

1. 夫が取得できる / できた
2. どちらかといえば夫が取得できそう
3. 夫も妻も同程度に取得できる / できた
4. どちらかといえば妻が取得できそう
5. 妻が取得できる / できた
6. どちらも取得できない / できなかった
7. その他（具体的に ）

**介護休業**

1. 夫が取得できる / できた
2. どちらかといえば夫が取得できそう
3. 夫も妻も同程度に取得できる / できた
4. どちらかといえば妻が取得できそう
5. 妻が取得できる / できた
6. どちらも取得できない / できなかった
7. その他（具体的に ）

地域活動などについてうかがいます(全員の方がお答え下さい)。

問9 家事や仕事以外で、現在地域活動やグループ活動をされていますか。また、今後新たにしてみたいと思う地域活動やグループ活動はありますか。あてはまる選択肢の番号にすべて をつけてください。

**現在している活動**

- 1. 社会福祉活動
- 2. 環境保全活動・消費者活動
- 3. まちづくり等の地域活動
- 4. P T A活動、子ども会など
- 5. 自治会、婦人会、老人クラブなど
- 6. スポーツサークル活動
- 7. 教養や趣味の活動
- 8. その他(具体的に )
- 9. 活動していない

**今後新たにしてみたい活動**

- 1. 社会福祉活動
- 2. 環境保全活動・消費者活動
- 3. まちづくり等の地域活動
- 4. P T A活動、子ども会など
- 5. 自治会、婦人会、老人クラブなど
- 6. スポーツサークル活動
- 7. 教養や趣味の活動
- 8. その他(具体的に )
- 9. 活動するつもりはない

問10 地域活動における男女の役割分担についてうかがいます。単位福祉協会(自治会) ボランティアなどの地域活動における実態とあなたの考えに関して、それぞれの項目について、一番近い選択肢の番号に1つ をつけてください。

	A 現 実				B 意 識			
	1 そ う で あ る	2 そ う で な い	3 ど ち ら で も な い	4 わ か ら な い	1 当 然 だ と 思 う	2 仕 方 な い	3 改 善 す べ き	4 わ か ら な い
企画等の決定は男性が行う	1	2	3	4	1	2	3	4
準備や片付けは女性が行う	1	2	3	4	1	2	3	4
団体の長には男性が就く	1	2	3	4	1	2	3	4
女性の発言が少ない	1	2	3	4	1	2	3	4
男性の参加が少ない	1	2	3	4	1	2	3	4

仕事、家庭生活、地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度などについてうかがいます。(全員の方がお答え下さい)。

問 1 1 あなたの希望と現実(現状)について、一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

**希望**

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

**現実(現状)**

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問 1 2 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる選択肢の番号にすべてをつけてください。

1. 男性の家事・地域活動などへの参加に対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性の家事・地域活動などへの参加に対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する
5. 社会の中で、男性の家事・地域活動などへの参加に対する評価を高める
6. 労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする
7. 男性の家事・地域活動などに対する関心が高まるよう啓発や情報提供を行う
8. 研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める
9. 男性が家事・地域活動などを行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる
10. 男性が、家庭や地域活動と仕事の両立などの問題を相談しやすい窓口を設ける
11. その他( )

男女共同参画施策等についてうかがいます。

問 1 3 次の言葉の意味や内容をご存知ですか。それぞれの項目について、あてはまる選択肢の番号に1つをつけてください。

	1 ・言葉の意味や 内容を知っている	2 ・言葉は 聞いたことがある	3 ・知らない
尼崎市男女共同参画社会づくり条例	1 .....	2 .....	3
尼崎市男女共同参画計画	1 .....	2 .....	3
尼崎市男女共同参画推進事業者表彰	1 .....	2 .....	3
尼崎市男女共同参画申出処理制度	1 .....	2 .....	3
尼崎市男女共同参画推進員	1 .....	2 .....	3
女性センター・トレピエ	1 .....	2 .....	3
男女共同参画社会基本法	1 .....	2 .....	3
男女雇用機会均等法	1 .....	2 .....	3
社会的性別（ジェンダー）	1 .....	2 .....	3
ドメスティック・バイオレンス（DV）	1 .....	2 .....	3
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康・権利）	1 .....	2 .....	3
性同一性障害	1 .....	2 .....	3
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	1 .....	2 .....	3

問 1 4 今後、どのようなことが必要だと思われますか。それぞれの項目について、あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つをつけてください。

	1 必要だ	2 やや必要だ	3 あまり 必要ない	4 必要ない
学校教育の中で男女共生教育を推進する	1 .....	2 .....	3 .....	4
女性センターなどで男女共同参画の啓発を進める	1 .....	2 .....	3 .....	4
女性が経済力や知識・技術を身につける	1 .....	2 .....	3 .....	4
男性が家事や育児を行う能力を身につける	1 .....	2 .....	3 .....	4
職場で労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入などを進める	1 .....	2 .....	3 .....	4
職場で育児休業・介護休業の取得を促進する	1 .....	2 .....	3 .....	4
子育て、介護を支援するサービスを充実させる	1 .....	2 .....	3 .....	4
政策・方針決定の場、管理職への女性の登用を促進する	1 .....	2 .....	3 .....	4
社会通念や慣習、しきたりなどを改める	1 .....	2 .....	3 .....	4

問15 次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。あてはまる選択肢の番号にすべて をつけてください。

1. 都道府県、市(区)町村の首長
2. 国会議員、都道府県議会議員、市(区)町村議会議員
3. 国家公務員・地方公務員の管理職
4. 裁判官、検察官、弁護士
5. 大学教授
6. 国連などの国際機関の管理職
7. 企業の管理職
8. 起業家・経営者
9. 労働組合の幹部
10. 農協の役員
11. 新聞・放送の記者
12. 自治会長、町内会長等
13. その他(具体的に )
14. 特にない

問16 尼崎市の市報や発行物、ホームページなどの内容は、全体的にみて、男女の役割が固定化されないよう配慮されていると思いますか。あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つ をつけてください。

1. 配慮されている
2. ある程度配慮されている
3. あまり配慮されていない
4. 配慮されていない
5. わからない

結婚観についてうかがいます。

問17 結婚について、次のような考え方をあなたはどう思いますか。あなたの考えに一番近い選択肢の番号に1つ をつけてください。

(1) 結婚は個人の自由であるから、必ずしも結婚しなくてもよい

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

(2) 結婚してもうまいかなければ、離婚してやり直す方がよい

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

ドメスティック・バイオレンス(DV、配偶者や恋人などからの暴力 )についてうかがいます。

婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者や元恋人も含まれます。

問18 あなた自身の経験をうかがいます。それぞれの項目について、あてはまる選択肢の番号に1つをつけてください。

	1 あ っ た 何 度 も	2 あ っ た 一 、 二 度	3 全 く な い	4 配 偶 者 や 恋 人 は い な い
なくったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3	4
あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3	4
人格を否定するような暴言や無視するなどの精神的ないやがらせを受けた	1	2	3	4
いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3	4
生活費を渡さない、妻が仕事に就くことを禁じるなどの経済的な暴力を受けた	1	2	3	4
交友関係を細かく禁止するなどの社会的な暴力を受けた	1	2	3	4

(付問1) 上の質問で「何度もあった」または「一、二度あった」と回答した方にうかがいます。配偶者や恋人などから受けた行為について、だれかに相談しましたか。あてはまる選択肢の番号にすべてをつけてください。

1. 相談機関や窓口相談した
2. 警察に相談した
3. 弁護士・弁護士会に相談した
4. 医療関係者に相談した
5. 家族・親戚に相談した
6. 友人・知人に相談した
7. その他の人・機関に相談した
8. どこ(だれ)にも相談しなかった
9. その他(具体的に )

(付問2) 付問1で「どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した方にうかがいます。

どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる選択肢の番号にすべてをつけてください。

1. どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから
5. 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから
6. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
7. 自分さえがまんすればやっていけると思ったから
8. 世間体が悪いから
9. 他人を巻き込みたくなかったから
10. 他人に知られると、これまで通りの付き合いができなくなると思ったから
11. そのことについて思い出したくなかったから
12. 自分にも悪いところがあると思ったから
13. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
14. 相談するほどのことではないと思ったから
15. その他(具体的に )

問19 あなたやまわりの方が配偶者や恋人などからの暴力の被害にあわれたとき、どのような相談機関や窓口があるかご存知ですか。知っている機関や窓口の選択肢の番号にすべてをつけてください。

1. 尼崎市の家庭児童相談室(婦人相談員)
2. 尼崎市女性センター・トレピエの女性の悩み相談
3. 兵庫県立女性家庭センター(配偶者暴力相談支援センター)
4. 兵庫県立男女共同参画センター「イーブン」相談室
5. 警察
6. 弁護士・弁護士会・日本司法支援センター(法テラス)
7. 法務局・人権擁護委員会
8. 医療関係機関
9. 民間の相談機関
10. 地域の相談機関(人権擁護委員、民生児童委員)
11. その他(具体的に )
12. どれも知らない

問20 配偶者や恋人などからの暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
あてはまる選択肢の番号にすべてをつけてください。

1. 家庭で子どもに対し、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う
2. 学校で、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う
3. 暴力防止のための広報・啓発活動を行う
4. 暴力を助長するおそれのある情報を取り締まる
5. 地域で見守りなどのネットワークづくりを行う
6. 加害者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
7. 加害者への罰則を強化する
8. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

あなたご自身についてうかがいます。

<フェイスシート>

F1 性別は

- |      |      |
|------|------|
| 1. 女 | 2. 男 |
|------|------|

F2 年代は

- |        |          |
|--------|----------|
| 1. 20代 | 4. 50代   |
| 2. 30代 | 5. 60代   |
| 3. 40代 | 6. 70代以上 |

F3 結婚されていますか

- |       |                    |           |
|-------|--------------------|-----------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚・配偶者あり（事実婚含む） | 3. 既婚・離死別 |
|-------|--------------------|-----------|

F4 家族は（同居されているご家族）

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） | 4. 3世代世帯（親と子と孫） |
| 2. 1世代世帯（夫婦だけ）  | 5. その他（ _____ ） |
| 3. 2世代世帯（親と子）   |                 |

F5 子どもをおもちの方のうちうかがいます。（別居のお子さんも含む）

（1）子どもの性別は

- |      |      |         |
|------|------|---------|
| 1. 女 | 2. 男 | 3. 男女両方 |
|------|------|---------|

(2) あなたの一番下のお子さんは次のどれにあたりますか

1. 就学前	4. 専修学校、短大、大学、大学院などの学生
2. 小学生	5. 学校を終えた
3. 中学生・高校生	

F 6 あなたのお仕事はなんですか。現在の仕事に最も近い選択肢の番号1つに をつけてください。

1. 自営業	働いている	5. 家事専従	働いていない
2. 常勤(フルタイム)		6. 学生	
3. 派遣社員		7. 無職	
4. パート・アルバイト		8. その他( )	

F 7 F 6で「1. 自営業」、「2. 常勤(フルタイム)」、「3. 派遣社員」、「4. パート・アルバイト」と回答した方にかがいます。

(1) 働いている理由はなんですか。あてはまる選択肢の番号に3つまで をつけてください。

1. 働くことは当然である
2. 生活費を得るため(自分の収入がないと生活できない)
3. 家計の補助や将来への貯蓄のため
4. 自分の自由になるお金を得るため
5. 自分の才能や能力、知識や技術を生かすため
6. 社会的な経験を積み、視野を広げるため
7. 生きがいを得るため
8. 人間関係を豊かにするため
9. 家庭だけにいたくないため
10. 家業だから
11. その他(具体的に )

(2) 今後も仕事をもち続けたいですか。あてはまる番号に1つ をつけてください。

1. 働ける間は働き続けたい	3. やめたい
2. 当分の間は働きたい	4. わからない

F 8 F 6で「5.家事専従」、「6.学生」、「7.無職」と回答した方にうかがいます。

(1)働いていない理由はなんですか。以下の理由のそれぞれについて、あてはまる選択肢の番号に3つまでをつけてください。

1. 高齢である	8. 家庭と両立できる仕事がない
2. 体力に自信がない・病気がち	9. 家族が働くことを望まない
3. 育児・介護に専念したい	10. 仕事以外の活動をしている
4. 育児・介護に専念せざるを得ない	11. 自由に生きたい
5. 就職先を探しているが見つからない	12. 現在在学中である
6. 経済的に働く必要がない	13. その他(具体的に: )
7. 自分の能力を生かせる仕事がない	

(2) 今後仕事をもちたいですか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

F 9 配偶者のいる方にうかがいます。

あなたの配偶者のお仕事はなんですか。現在の仕事に最も近い選択肢の番号1つにをつけてください。

1. 自営業	5. 家事専従
2. 常勤(フルタイム)	6. 学生
3. 派遣社員	7. 無職
4. パート・アルバイト	8. その他

男女共同参画に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。


最後までご協力いただき、ありがとうございました。  
同封の封筒に入れ、切手を貼らずに5月27日までに返送してください。